

今年度第2回の学校運営協議会を令和7年9月26日（金）に開催し、7名の委員の方々にご出席いただきました。

今回は、今年度1学期の取組及び今後の予定について、予算の執行状況、埼玉県及び全国学力学習状況調査、学校評価（学校生活アンケート）についてご報告し、その後「学校行事、PTA 行事、地域行事への参加・連携について」のテーマで熟議をいただきました。

以下、学校側からの報告の中での質疑応答、および熟議で話し合われた内容についてお知らせします。

「埼玉県及び全国学力学習状況調査」報告の中から

（質問1）スマホ等の利用が多くなる中、注意すべき点はどのようなになっているか。
（回答1）視力の低下や学習以外での使用、グループラインでの友達関係のトラブルに注意が必要。おとももICTのより良い使い手になるべき。

（質問2）子供たちの学習時間が少なくなっているのではないか。
（回答2）学校保健委員会での報告によると、平日の塾や家庭での勉強時間は、30分未満が40%超、30分から1時間が40%超、3時間以上が2～3%であった。教科書が重いため持ち帰りが少なくなっていることも一因かもしれない。自主学習の時間は、学年×10分+10分としているが、実状は各家庭による。

学校評価（学校生活アンケート）結果報告の中から

（意見）手押しの信号のある交差点で、PTA に立ってもらっていることが効果的である。シルバーや交通指導員の方々がいないときに重点的に立ってもらうような工夫が今後の課題であると思う。



（質問3）盗撮などについてはどういった取組をしているか。

（回答3）校内の点検を教職員で行った。児童の目の前ではスマホを使用しない、写真撮影の際は腕章を着用して、疑念を持たれないようにすることを共通認識としている。

熟議「学校行事、PTA 行事、地域行事への参加・連携について」 委員の皆様からいただいたご意見・ご提案

① 学校ができること

- ・地域へ学校の情報を届ける
- ・学校のアピール
- ・あいさつにより、人を覚え、人を知る
- ・保護者を企画する
- ・子供の背景を知る
- ・参加しての喜びを知る
- ・（学校の教育活動を）まずは見学してもらう
- ・地区ごとの組織を行事に生かす。縦のつながりを形成し、連帯感をつくる
- ・地域の祭りや子供会活動に参加してコミュニケーションを積み上げる
- ・学校施設の開放、人材を地域に生かす取組を考える

② 家庭・地域ができること

- ・あいさつ
- ・環境の変化や状況の変化に対応して人を守る。見守ることが必要。
- ・学校行事にできるだけ参加する
- ・子供と一緒に行動する機会を増やす・関心を持つ（学校だより等）
- ・コミュニケーションの重要性のため、おせっかいをする地域にしてい
- ・以前行っていたような、草取り、清掃などの依頼があれば学校にかかわれるのでは。
- ・草取り、校舎内整美、廃品回収等の奉仕活動（学期1回ぐらい）

